



# 河小だより



四日市市立河原田小学校  
学校通信 第24号  
令和5年 9月25日(月)  
文責 校長 鳥居 純樹

今週末に迫った運動会に向けて全校での練習も始まり、子どもたちの気持ちも高まってきています。今年、例年以上に残暑が厳しく、各学年の練習計画を1・2限目に集中し、短期集中型での取り組みとなっています。また係活動の打ち合わせの時間を1時間増やすことで、子どもたちには運動会を主体的に創り上げていく働きを求めています。高学年の子どもたちが「河原田小の顔」という話を常々からしています。運動会でも全校を引っ張っていく素敵な姿を見せてくれることを期待しています。

## 河原田小学校の体力について

本校では、一学期に全校児童を対象に新体力テストに取り組みました。右の表が結果の一覧となります。黒塗りの箇所は、平均値よりも上回っている項目となります。立ち幅跳びは全学年とも目標値を超えていて、本校の長所となっています。また上体起こしや握力もほとんどの学年で目標値を超えています。また昨年度落ち込みが見られた20mシャトルランでは、どの学年もめあてを明確にもたせて取り組むことで、改善傾向が見られました。

種目	6年		5年		4年		3年		2年		1年	
	平均	目標値	平均	目標値	平均	目標値	平均	目標値	平均	目標値	平均	目標値
握力(男子)	19.8	20	16.5	17	15.2	15	11.9	13	10.1	11	9.3	9
握力(女子)	19.6	19	15.4	17	15.8	14	12.2	12	10.6	10	9.2	9
上体起こし(男子)	21.3	21	20.3	19	18.4	17	16.4	15	16.8	13	12.8	11
上体起こし(女子)	18.9	19	18.8	18	18.4	16	14.9	15	12.1	13	12.3	10
長座体前屈(男子)	32.0	36	39.4	34	36.8	32	36.5	30	40.0	28	22.1	26
長座体前屈(女子)	39.0	41	42.4	38	43.7	36	38.3	33	42.9	31	25.0	29
反復横跳び(男子)	44.1	46	40.0	43	38.4	39	27.8	34	28.6	31	26.5	28
反復横跳び(女子)	43.6	43	37.8	40	35.3	37	29.6	33	24.7	30	25.9	27
20mシャトルラン(男)	56.9	60	56.8	52	52.3	44	29.1	35	28.1	27	18.3	18
20mシャトルラン(女)	44.2	45	39.7	40	35.3	33	23.0	26	18.1	21	16.2	15
50m走(男子)	9.1	9.0	9.2	9.4	10.1	9.7	10.1	10	10.7	11	11.8	12
50m走(女子)	9.7	9.3	9.6	9.7	10.1	10	10.6	11	11.3	11	11.8	12
立ち幅跳び(男子)	166.8	162	155.0	162	153.4	142	137.8	132	129.5	122	119.0	110
立ち幅跳び(女子)	161.2	155	145.4	145	139.8	135	129.8	125	120.6	114	120.0	104
ソフトボール投げ(男)	25.4	28	20.1	24	17.8	20	13.4	16	11.2	12	8.9	9
ソフトボール投げ(女)	13.9	16	13.8	14	11.7	12	9.5	10	7.0	8	7.2	6

その反面、昨年度から数値的には改善しましたが、特に高学年のソフトボール投げ、低学年の反復横跳びが目標値よりも落ち込んでいる結果となっています。

四日市市内の学校の様子から、体力テストでの落ち込みがあり、コロナ禍の影響で全国的にも子どもたちの体力低下が課題となっている中で、子どもたちのがんばりを感じています。

学校づくりビジョン重点2「こころとからだの健全な育成」を掲げ、その中の一つとして「体力・運動能力の向上」を掲げています。体育の授業での取り組みの成果だともいえます。また30日(土)の運動会でも体育での成果を子どもたちの演技と表情や集団行動などからご覧いただき、がんばりを評価していただければと思います。

新体力テスト結果は伸びを示しましたが、気になるデータとして保健室来室状況調査があります。昨年度の来室者数( )と比較すると4月73人(-4人)5月115人(+27人)6月139人(+44人)7月65人(-20人)となっています。一学期の来室者数は昨年度よりも47人増加しています。新体力テストの結果はよくても、けがや体調不良が多いと体力が向上したとはいえません。運動面だけではなく、生活習慣が大きく影響している結果だといえます。暑さなどの気温など環境面も大きく影響しています。残暑厳しい日が続きますので、ご家庭での体調管理についてご協力よろしくお願いします。

## ONE TEAM

4月は野球の国際大会WBCでの日本チームの優勝、8月のバスケットボールワールドカップでは、本が自力でのオリンピック出場を決めました。9月に入り、ラグビーのワールドカップが開催されていて盛り上がっています。

これらの日本代表チームには、外国人選手がいます。野球とバスケットボールの日本代表には、日本国籍という条件があります。ただし野球の場合は、両親のどちらかが日本国籍であることと言う条件があり、ヌートバー選手が選ばれ、WBCで大活躍しました。ラグビーの場合、国籍に関係なく、3年以上日本に在住すれば日本代表になることができます。「日本人が少ない」と私も違和感を覚えました。日本のため、日本代表の誇りをかけて戦っている仲間に国籍は関係ありません。日本のために戦っている日本代表をいつの間にか応援している姿がありました。

本校にも外国にルーツがある子どもたちが在籍しています。そのことで、傷つく言葉を言われたり、仲間外れにされたりする事例もありました。国籍が違うから「みんなと違う」ではなく、「様々な国のことを知ることができる」「いろんな考え方、風習がある」とプラスにとらえてほしいと思います。

外国の方にかかわらず、人は一人一人違う環境で育ち、一人一人考えをもっています。その思い出し合い、聴き合うことが仲間の絆を深めていくことにつながります。

言葉は通じないこともあっても心は伝わります。ラグビー日本代表のチームのように河原田小学校もONE TEAMとして、みんなが仲間として同じ目標に向かって日々努力していきたいと思います。



## 運動会全体練習

9月20日(水)21日(木)の二日間、運動会に向けて開会式、閉会式の練習を全校で取り組みました。始業式でも話をした4つのCを運動会でも意識することを子どもたちに話しました。

Change・・・従来よりも短い練習日程となっているので、主体的に動くこと。

言われたことだけをするのではなく、自分で主体的に動けるように考えを変えること

Challenge・・・自分の限界や自分のせい一杯を出せるように挑戦していく運動会にしてほしい。

Control・・・今何をすべきなのか、気持ちをコントロールして集中して運動会に取り組む。

Communication・・・周りの人とコミュニケーションをとりながら最高の演技を創り上げていくこと。

今年は各クラスから運動会での目標を開会式で発表します。クラス一人一人がその目標を体現できるような姿を保護者の皆さんや地域の皆さまに見せることで日頃の学習の成果を発表してほしいと思います。演技をする、演技を見る、待つ姿などすべての場面で河原田っ子の全力で楽しむ姿をお楽しみください。

